

諦めなければ何でもできる 強い熱意で、花巻のために

店舗経営で、花巻に活気を

一念岩をも通す。そんな情熱を持った人物が、花巻に活気をもたらしている。その人の名は、高橋亮さん。花巻市内に4店、盛岡市に1店の飲食店を経営。中でも、花巻駅隣の「Lit work place（リットワークプレイス）」は、店内にビール醸造所を構える「ブルーパブ」兼カフェとして注目を集めている。

彼の情熱、行動力の源泉はどこにあるのか。これまでの足跡を振り返りながら探っていききたい。

よみがえる、かつての思い

亮さんは、花巻市湯本出身。2歳の頃から家族で雪に親しんでいたことがきっかけになり、スノーボードにのめり込む。高校時代には学校の許可をもらい、冬はペンションに泊まって山籠もり。冬以外はアルバイトでお金を貯めるとい生活。既にスノーボードが生活の中心になっていた。

高校卒業後、ものづくりが好きだったことから職業訓練校で大工の知識を学ぶ。その後、就職せずに再

びスノーボード中心の生活へ。全国の雪山を目指し、仕事は時間や場所の融通が利く短期のアルバイトを探した。大型トラックの運転手や工場での流れ作業、営業など、短期であれば業種を問わず飛び込んだ。個人事業にも挑み、スケートボード用のミニランプ（滑走用設備）を自作販売したり、調理用の鉄板を購入して、露店で焼きそばやケバブを作ったりすることもあった。

やがて、骨折や靭帯断裂など、スノーボードでのケガに悩まされるように。手術を9度も経験し、潮時を感じて20代半ばで岩手に戻ることを決めた。

2012年、花巻市鉛温泉スキー場の食堂経営に乗り出す。ある年のこと、アルバイトとして高校3年生を10名雇用した。「卒業したらどうするの？」とたずねると、花巻で就職すると答えたのは1名だけで、9名は市外もしくは県外で進学や就職をするのだという。

実は、亮さんにも思い当たることがあった。雪山を転々と渡り歩く若者たちと話した時のこと。全国各地



JR花巻駅隣に2019年8月にオープンした「Lit work place」。木材をふんだんに使用した温かみを感じる空間。1階では、店内で焼き上げたパンとドリンクを販売。2階はカフェスペース。17時を過ぎると、クラフトビールと料理が楽しめるタップルームに変わる。





何事にも真つすぐひたむきに取り組む高橋さんの周りには、協力する人や応援する人たちの輪ができる。「誰かのためになれることが幸せ。だから、仕事をしているという感覚がないんです。これからも、花巻の人たちに貢献し、笑顔を増やしていけたら」と、高橋さんは語る。



解体、内装、外装まで、高橋さんを中心に、多くの人たちが協力してフルリノベーションで仕上げた。高橋さんは、花巻初のリノベーション物件の1階「JOE'S LOUNGE」でもフルリノベーションを経験。大工、ビール醸造家、経営者など、多彩な顔を持つ。

から集まった同年代の彼らは、地元自慢をしてくる。「うちの街は、こんなに良いところだからおいでよ」。皆、地元を愛しているのが伝わってきた。一方、自分には生まれ育った街への愛着がなく、悔しいと思った。

高校生たちの進路を聞いて、自身の過去がよみがえってくる。このままでは花巻から若い人たちが減ってしまう。地元のが好きで、一度は離れたとしても、また戻ってきたくなるような街にしたい。そんな思いが胸に宿った。

物件を見ずに、「やりませう」

2012年は、亮さんにとって転機の年となる。鉛温泉スキー場の食堂や、花巻市内のアイリッシュパブ「THE・KEG（ケグ）」と他1店舗の経営を引き継ぎ、さらには夏油高原スキー場のフードコート運営も担当した。一気に複数店舗の経営者に。これらの経験が、次のステージへとつながっていく。

2014年のある日のこと。自宅で従業員の給与計算をしていると、

やってできないことはない

2018年、花巻で開催されたりノベーションスクールで、遊休不動産の再生に取り組んだことが縁で、ビールの醸造を始めることに。ノウハウなど全くなかったが、やると決めた翌日には、免許取得のための情報収集をしていた。

ところが、当初予定していた物件は利用できないことになる。ここで諦める人も少なくないだろう。だが、亮さんは違った。

「僕はゴールが見えた瞬間から走り出すタイプ。ゴールまでの道のりを考えると、嫌になって足が止まりますから。予定していた物件がだめになっても、SNSで既にやると宣言していましたし、嘘つきになんたくなかった。何としてでも実現させようと思いました」

その後、他の物件がみつかり、醸造関係の協力者もあらわれてオープンにこぎつけた。

改めて、亮さんにたずねた。その情熱と行動力の源泉はどこにあるのか。

「僕は小さい頃から不器用で、みんな

電話が鳴った。相手は、亮さんの店の常連さん。花巻初のリノベーション物件1階の飲食店をお願いできないかと打診される。

「花巻と一緒に盛り上げていきませんか」との誘いに、亮さんは物件を見ることなく、「やりませう」と即答した。当時を次のように振り返る。

「街の魅力づくりに興味を持っていただけもあり、『チャレンジする大人が集まるまち』というコンセプトを聞いて、自分もチャレンジしてみよう、とてもワクワクしました」

職業訓練校で学んだ大工の知識も活かして、フルリノベーション（大幅な建物改修）に挑戦。一人で作業していたところ、仲間やお客さん、近隣企業の皆さん、さらには近所の人たちまで手伝いに来てくれた。壁面にブリックタイルを張る時には、60名もの協力者が集まった。「JOE'S LOUNGE（ジョーズラウンジ）」が完成した時のことを、亮さんはこう語る。

「感動しましたね。街の方々の思いの詰まった店になったことが、とにかく嬉しかったです」

ながすんなりクリアするようなことができなくて、能力がないんだとコンプレックスを持っていました。でも負けず嫌いなので、できるようにするまで諦めない。すると、できるようになるんです。だから、何でも不可能なことはないし、やればできる。その経験の積み重ねが、今の自分を作っているのだと思います」

やると決めたら、真つすぐに突き進む亮さん。自分のためにと始めた事業も、気がつくとも多くの仲間、お客さんに支えられ、みんなの幸せ、街の幸せを考えるように。その気持ちにさらに人を引き寄せ、花巻にうねりを巻き起こす。



株式会社 トルクスト
岩手県花巻市大通り1-7-40
TEL 0198-41-4614